

# 日刊 動労千葉

81.3.6  
No. 681

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八(動力車会館)  
(電話)三九三五・六(会業)四三三二七・三〇七

# 全組合員の総決起で 本日 全面ストライキを貫徹せよ

## 3.5 助役機関士・本部「派」のスト破りに 怒りを込めた特急・急行ストを貫徹

われわれは、昨日(五日)、国鉄当局が四日に引き続き、スト破り助役機関士の導入を強行したことに對し怒りを込めた抗議の闘いとして特急・急行列車の二四時間指名ストライキに突入し、権力・国鉄当局・「本部」革マル分子の弾圧・介入策動を完全に粉砕して闘い抜き、ますます国鉄当局を追いつめたのである。そして今日は、すでに津田沼・千葉駅をはじめとする全拠点で全面ストライキに突入している。われわれは、断固たる万全の闘争態勢で本日の全面ストライキを防衛・貫徹しなければならぬ。

二日以降の闘いを引き継ぎ、四九本の特急・急行列車をぶつとめる!

国鉄当局は、わが動労千葉の三月二日以降のジェット燃料貨車輸送延長阻止のストライキに對し、ついに、一昨日(四日)以降、助役機関士という国鉄史上かつてない公然たるスト破りを導入してきた。

この暴挙に對し、四日には、国労千葉地本がわが動労千葉のジェット列車指名ストライキに呼応して列車掛の乗務を拒否して闘いに起ち上ったのであった。

わが動労千葉の三月決戦ストライキは、確実に闘り労働者・人民の心を揺り動かしている。

こうした二日以降の闘いの成果を引き継ぎ、さらに四日からのスト破り助役機関士導入に怒りを込めて昨日(五日)、特急・急行列車の指名ストライキに突入した。そして管内の特急・急行列車五八本のうち、兩國六時三十分発一〇一M館山行・内房一号の指名スト突入を皮切りに、合計四九本の特急・急行列車を止める闘いを敢然と闘い抜いたのである。

一方ジェット燃料列車は、わが動労千葉の引き続くストライキに對し、当局・公安に手厚く守られた助役機関士と「本部」派裏切り分子を乗り込ませ、スト破りを公然と行なっていたのである。

労働運動の戦場的転換と 動労大改革をめざし、 決戦ストライキを断固貫徹せよ!

いよいよ、全組合員総決起態勢の下、本日、われわれは全面スト貫徹の闘いに突入した。

このわが動労千葉の決戦ストライキは、すでに明らかのように、鈴木自民党内閣が進める軍事大国化・憲法改悪攻撃を粉砕する闘いであり、労働連帯の真価をかけた三里塚二期工事阻止の闘い

ある。さらに、八一春闘の突破口を切り拓く闘いであると同時に、日本労働運動の右傾化し産業報国会化のながれをおしとどめ、戦場的再生をからとる闘いであり、そして国労・動労中央が国鉄からストライキを一掃する攻撃としての「二〇二億円」損賠路線に屈服し、三五万人体制に協力している中で、国鉄労働運動の戦場的転換をかちとりとりわけ動労「本部」革マル分子一掃・動労大改革を実現する重大な闘いなのである。

国鉄当局は、「ジェット燃料列車をメンツにかけても一本も止めさせざるを」と異常ともいふべき決意で弾圧体制をもつてのぞんでいる。

一方、動労「本部」革マル分子は、重大な意義をひめたわが動労千葉の三月決戦ストライキの意義を何んとか低め、介入し、破壊せんとして、連日、当局に手厚く守られてスト破りを行なっているのである。

われわれは、権力・国鉄当局・「本部」革マル反動分子などからの様々なスト圧殺・介入攻撃を一三〇〇組合員の一致となった団結力・組織力をもって粉砕し、本日の二四時間ストライキを防衛・貫徹しようではないか。



3月4日には、ついに国労の仲間も決起し、助役機関士によるスト破り列車への乗務を拒否した。

(写真は、善こびのニュースを伝える) 佐倉支部の看板